

愛機

JJ1SXA 池

以下は、少し前の新聞に載っていた、オリンパスのデジカメの広告の中に見つけた文章です。

愛機の条件……

パソコン全盛の今でも、愛用の万年筆やペンで原稿を書くという作家は、以外に多い。

何十年もの間、一本の万年筆を持ち歩き、愛用し続ける作家もいる。

彼にとってその万年筆は、もはや手放すことのできない、いわば体の一部になっているに違いない。

人間にとってひとつの道具が、優れているかどうかは、単純には決められない。

サイズ、形、軽さ、機能……そのすべての要素が絡み合っている。

……引用終り

確かに、愛機というものは、こういうものだと思いますが、自分にとって、永く愛用している物は何だろうかと眺めて見たら、有りました……

モバイルに積んでいる、トリオの「**TR-9300**」、現社名は、ケンウッドですが、このリグの銘板は間違いなくトリオです。

240グループがスタートした、1981年の初秋に発売されると、即購入しましたから、既に22年近く愛用していることになります。

それまでには、メーカー製の50MHzモバイル専用機は、前年に発売された八重洲無線（当時）の「FT680」位、それ以前には、そんなものは無かったと言っても過言では無いでしょう。

240グループの歴史と共に、何台も乗り換えられたわが愛車に永年陣取り、これまた永年愛用の、5/8λのホイップに繋がって、いまだに活躍してくれています。まだまだ現用機として愛用したいと思います。

何と言っても、このリグは、最近のリグに比し、本当にシンプルな操作性が気に入っているところです。

モバイル運用というのは、本来走りながらの運用が基本ですから、走行中の操作性が良いと言う事は、安全運転にもつながります。

CWモードへの切り替えも簡単、かつ周波数のシフト無しでそのまま波が出せます、固定の局とのQSO中、CWへQSYする時も、走行中の私の方が早く、驚かれる事もあり、本当に240で使用するのには素晴らしく良いリグだと思っています。（○が無くて新しいリグが買えないのだろうとの声も）

何と言われようと、この愛機を、大事に末永く使い続けたいものです。